

目標達成計画

作成日: 平成 28年 12月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	他事業所も含め法人全体で、食事はクックチルド方式で提供しているが、利用者自身が調理に携わる機会が少ない。利用者が調理工程に関わる機会を増やし、食に対する関心や楽しみを維持していくことが課題である。	食事・おやつレクの機会を増やし、利用者に調理工程から関わっていただく機会を増やす	誕生会等行事の際は、クックチルド方式の食事やおやつを中止し、利用者と職員が協働して調理を行う。直接調理に携われない利用者には、目の前で調理・盛り付けするなどして、視覚・嗅覚・聴覚で調理を楽しんでいただく。	3ヶ月
2	35	法人全体で定期的に年2回の避難訓練は実施しているが、実際の災害・緊急時に職員ひとり一人が機敏に対応できるか不安がある。	職員ひとり一人の役割を決めて、災害時・緊急時に行動できるようにする	勤務中・勤務時間外のそれぞれにおいて職員がどう行動するか検討する。 避難経路の確認とシミュレーションを行う。	3ヶ月
3	4	運営推進会議において家族参加が少なく、利用者・家族と事業所の双方向の意見交換がにくい。法人内3事業所合同で行っているが、会議のあり方そのものの見直しが必要である。	運営推進会議を活性化するための方策を検討する	すでに法人内で、平成28年度中に実施する計画を設定しているため、まずそれを継続する。 次年度に向けた計画を、法人内で検討していく。	4ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。